試験データ 1

アルソフト 手指消毒ローションの新型コロナウイルスに対する有効性について

アルソフト 手指消毒ローション（販売名：アルソフトW）は、
新型コロナウイルスに対する効果について試験し、

検出限界以下（99.99%）に減少させることを確認しました

試験方法

アルソフト 手指消毒ローションの原液、負荷物質、ウイルス液を8:1:1 の割合で混合し、15 秒間作用させた後、反応停止液で作用を停止し、段階希釈した[1)]。この希釈液を、VeroE6/TMPRSS2 細胞に接種し、CO_2 インキュベーターで培養した。培養後、ウイルス感染の有無を観察し、ウイルス感染価（$TCID_{50}$）を算出した。

使用ウイルス（宿主細胞）	新型コロナウイルスSARS-CoV-2（Vero E6 / TMPRSS2 細胞）
試験条件	コントロール:薬剤作用なし（人工硬水） 作用時間:15 秒 作用温度:20±1℃
負荷物質	0.3%ウシ血清アルブミン
培養条件	5%CO_2、37±1℃、3 日間

結果

アルソフト 手指消毒ローションの新型コロナウイルス不活化試験の結果を 表1 に示した。

表1 アルコール手指消毒剤の新型コロナウイルスに対する不活化効果

製剤名	初期ウイルス感染価（$TCID_{50}$/mL）	作用時間	ウイルス感染価（n=2）	
			対数減少値	減少率（%）
アルソフト 手指消毒用ローション	1.5×10^6	15 秒	*>4.38*	*>99.99*

結論

アルソフト 手指消毒ローションはサスペンジョン試験において、新型コロナウイルスの$TCID_{50}$ を検出限界以下（4.00 Log_{10} 以上）に減少させたことから、アルソフト 手指消毒ローションは新型コロナウイルスに対する不活化効果が期待される。

参考文献

1）NBN EN14476:2013+A2:2019
Chemical disinfectants and antiseptics-Quantitative suspension test for the evaluation of virucidal activity in the medical area- Test method and requirements (Phase 2 / Step 1)

出典

Harada et al., *Biocontrol Sci.*, Vol.27, No.4

試験データ 2

アルソフト 手指消毒ローションの RSウイルスに対する有効性について

アルソフト 手指消毒ローション（販売名：アルソフトW）は、
RSウイルスに対する効果について試験し、

検出限界以下（99.99%）に減少させることを確認しました

試験方法

アルソフト 手指消毒ローションの原液、負荷物質、ウイルス液を8:1:1 の割合で混合し、15 秒間作用させた後、反応停止液で作用を停止し、段階希釈した[1)]。この希釈液を、宿主細胞に接種し、CO_2インキュベーターで培養した。培養後、ウイルス感染の有無を観察し、ウイルス感染価（$TCID_{50}$）を算出した。

使用ウイルス（宿主細胞）	RSウイルス ATCC VR-1400（Vero細胞）
試験条件	コントロール:薬剤作用なし 作用時間:15 秒 作用温度:20±1℃
負荷物質	0.3%ウシ血清アルブミン
培養条件	5%CO_2、37±1℃、3~9日間

結果

アルソフト 手指消毒ローションのRSウイルス不活化試験の結果を 表1 に示した。

表1 アルコール手指消毒剤の新型コロナウイルスに対する不活化効果

製剤名	初期ウイルス感染価（$TCID_{50}$/mL）	作用時間	ウイルス感染価（n=2）	
			対数減少値	減少率（%）
アルソフト 手指消毒用ローション	4.9×10^5	15 秒	*>4.19*	*>99.99*

結論

アルソフト　手指消毒ローションはサスペンジョン試験において、EN14476に従って実施した試験において、RSウイルスの$TCID_{50}$を検出限界以下（4.00 Log_{10}以上）に減少させたことから、アルソフト 手指消毒ローションはRSウイルスに対する不活化効果が期待される。

参考文献

1）EN 14476:2013+A2:2019 Chemical disinfectants and antiseptics – Quantitative suspension test for the evaluation of virucidal activity in the medical area – Test method and requirements (Phase 2, step 1)

出典

TECOLAB Sdn. Bhd. 取得データ（Test Report No.: TR-23-0078）

アルソフト 手指消毒ローションの インフルエンザウイルスなどに対する有効性について

アルソフト 手指消毒ローション（販売名：アルソフトW）は、
感染症の原因となる下記ウイルスに対する効果について試験し、

検出限界以下（99.99%）に減少させることを確認しました

結果

試験結果を表1に示した。アルソフト手指消毒ローション（以下、アルソフト）は試験した4種全てのウイルス感染価を4log_{10}以上減少させ、EN14476の評価基準を満たすウイルス不活化効果を示した。

表1 ウイルス不活化効果（EN14476準拠）

ウイルス		作用時間	対数減少値	減少値（%）
エンベロープ	*Influenzavirus Type A (H5N1)* インフルエンザウイルス	15秒	>5.00	>99.99
	Herpes-simplex virus Type1 ヘルペスウイルス		>5.00	>99.99
	Bovine vial diarrhea virus1 ウシウイルス性下痢ウイルス(HCV代替)		>5.75	>99.99
	Vaccinia virus, strain Elstree ワクシニアウイルス		>5.16	>99.99

試験方法

ヨーロッパ標準法であるEN14476に準じて 試験を行った。アルソフトの原液、0.3%ウシ血清アルブミン、各ウイルス液を 8:1:1の割合で混合した。15秒間作用させた後、薬剤作用を停止させてそれぞれのウイルスに対応する宿主細胞に接種し、一定時間後にウイルス感染の有無を観察し、ウイルス感染価（$TCID_{50}$）を算定した。

出典

日本防菌防黴学会誌,Vol.51,No.1,pp.13−16（2023）

サラヤ株式会社　〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8 TEL.06-6797-2525 http://www.saraya.com/